

このたび協会けんぽ鳥取支部は琴浦町と「琴浦町民の健康づくり包括協定」を結び、相互に連携・協力して琴浦町民の健康づくりや健康増進に取り組むこととなりました。事業主の皆様の中には『なぜ今、連携なの?』という疑問もあろうかと思えます。

現在の健康保険制度は地域の国民健康保険（県内では19の市町村）と職域の被用者保険（協会けんぽ、健康保険組合、共済組合など）別に、それぞれが独自に事業運営を行っています。このため、健診ひとつとっても、町全体で健診の受診率はどうか?とか健診を受けている人と受けていない人の把握が難しいなど事業を進めるうえで不都合な現況にあります。

このような不都合さは、鳥取県の市町村に留まらず、全国各地でも同様であり、だからこそ、今回の連携は、その制度の壁を協力して乗り越えようとする県内では初めての試みとなるわけです。一方、24年度の琴浦町の医療費データを見ると、協会けんぽでは約10億円、琴浦町国民健康保険では約15億と高額な医療費がかかっています。

鳥取支部では、こういった状況を打破するため、琴浦町との連携・協力を次のように取り組みたいと考えています。

1. 鳥取県及び琴浦町の最大の健康課題、「がん」による死亡者を減らすためのがん検診とのセット健診の受診率向上に積極的に取り組みます。（セット健診…被扶養者の方々に琴浦町のがん検診と協会けんぽの特定健診を同時に受診していただくこと）
2. 協会けんぽの健康づくりの目的は、生活習慣病の改善や予防によって加入者の健康寿命の延伸に寄与することにあります。特に、協会けんぽは働き盛り世代の健康管理を担当しており、協会けんぽの加入者が退職され、琴浦町の国民健康保険に移られても健康な状態でバトンタッチできるよう健康づくり事業に積極的に取り組みます。
3. 琴浦町との連携によって、町民の約84%をカバーできるため、健診結果及び医療費情報などを共同で分析、琴浦町の健康課題を共有し対策を進めることで、将来にわたり、琴浦町民及び事業所の健康づくりや活性化に寄与し、かつ、医療費の上昇抑制・削減ができるよう積極的に取り組みます。

本事業で取り組む生活習慣病の改善や予防は、ご本人の自分を変えようという意識はもとより、職場ぐるみや家庭ぐるみのご支援が欠かせません。改めまして、本事業について、琴浦町の事業主の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



 全国健康保険協会 鳥取支部  
協会けんぽ

支部長 石本 健一